

# 基本計画の見方

**【関連するSDGsの目標】**  
 SDGsの17の目標のうち、テーマに関連の深い目標を示しています（上がっているアイコンは特に関連が深いもの）。SDGsの視点・考え方を取り入れ、その達成に貢献します。

**【施策】**  
 テーマの目指す方向性を達成するために実施する施策を記しています。

**【基本方針】**  
 テーマが目指す方向性と、それを実現するための基本的な方針を記しています。

**【現況と課題】**  
 施策を推進するにあたり、踏まえておくべき、テーマの現況と課題を記しています。「社会全体」と「茂原市」の現況と課題に分けています。

基本政策 1 教育文化

テーマ 6 国際化

**【基本方針】**

- 姉妹都市交流や異文化体験を通して、国際理解の促進や国際感覚の醸成を図ります。また、外国人市民との交流促進や、外国人市民が安心して暮らし働くことのできる生活環境の整備により、外国人市民とともに暮らしやすい多文化共生社会の実現を目指します。

**【現況と課題】**

- グローバル化の進行、東京オリンピック・パラリンピック、インバウンド観光の増加による国際理解の重要性の高まり。日本文化の再認識・海外への発信力強化。入国管理法改正による外国人市民の増加。多文化共生の重要性の高まり。
- 姉妹都市ソルズベリー市（オーストラリア・サウスオーストラリア州）とは、平成14年5月の姉妹都市提携以来、訪問団による相互交流や市内中学生による教育交流などを通じて、友好関係が続いています。今後も幅広い市民の国際理解、国際感覚の醸成を図るため、継続的な実施が必要です。
- 平成24年に茂原市国際交流協会を設立し、協会と協働で外国人市民との交流事業や多文化共生への理解を深める講座等を実施し、市民が国際交流事業に参加する機会を創出してきました。今後もより多くの市民が参加できるよう、更なる取り組みが必要です。
- ここ数年、市内に居住する外国人の数は増加しており、今後もさらに増加が見込まれます。外国人市民を大切な地域の一員として捉え、互いの文化的な違いを認め、相互に理解し合い、共に暮らしていく「多文化共生のまちづくり」への対応が求められています。併せて外国人市民が安心して暮らし働けるよう、生活環境の整備が必要です。

写真・図表

写真・図表

**【施策の対象となる領域】**  
 「時間的な視点」（生まれる・育つ・学ぶ／働く／老いる）と、「空間的な視点」（個人・家庭／生活圏域／市域・広域）が交わるマトリックスです。色の濃い部分が、テーマと関連が深い領域を示しています。

**施策 1 国際化の推進**

**【主な施策展開】**

(1) 国際交流活動の推進

- 姉妹都市交流などの国際交流活動を通じて、市民の国際感覚の醸成に努めるとともに、多くの市民が異文化に触れ、外国人市民との交流に参加できる機会を創出し、積極的に発信する機会の増大に努めます。
- 学校教育の中で国際理解教育を推進し、児童生徒が国際性を身につけられるよう努めます。
- 市民と行政が連携して地域の国際交流に取り組むため、茂原市国際交流協会の活動を支援します。

(2) 多文化共生社会の実現

- 茂原市国際交流協会と連携し、外国人市民とお互いの価値観や文化を尊重しながら共生し、安心して暮らしていくことができる社会の実現に努めます。
- 多言語に対応した行政情報の提供や生活相談など、外国人市民が暮らしやすく働きやすい環境の整備に努めます。

**【主要指標】**

**【関連計画】**

**【関連する時間的・空間的視点に関わる取り組み】**

施策の対象となる領域	個人・家庭	生活圏域	市域・広域
生まれる・育つ・学ぶ			
働く			
老いる			

**【主要指標】**  
 テーマの進捗度や達成度を図るための主要な指標を記しています。※現在検討中。

**【関連計画】**  
 テーマと関連する個別計画を記しています。総合計画と個別計画の整合を図ることで、目標達成に貢献します。※現在検討中。

**【関連する時間的・空間的視点に関わる取り組み】**  
 「時間的な視点」と「空間的な視点」の各領域における具体的な取り組み例を記載しています。※現在検討中。